

## 美味しいお米と 豊かな自然、そして 素敵な人たちが集う町

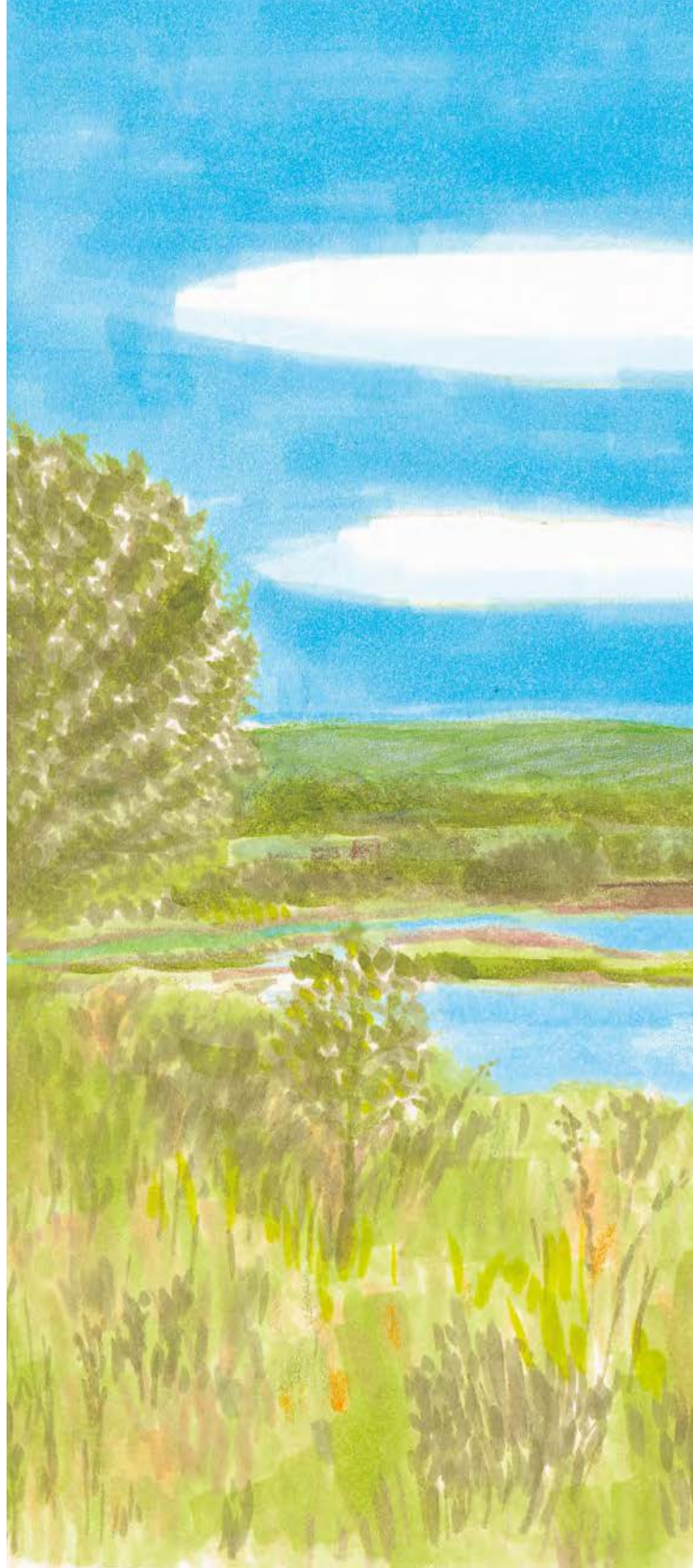
約20年前のこと。真狩<sup>まっかり</sup>の道の駅でゆり根丼を食べたら、お米がすごく美味しくて「どこのお米ですか?」と調理員さんに聞いたら「蘭越<sup>らんごし</sup>のお米です」と教えていただいた。それ以来、蘭越と聞くとお米が美味しいところと記憶している。

そんな蘭越のお米のような出会いがあった。蘭越在住の栄養士<sup>たがはしちえ</sup>の高橋千恵さんは、食いしん坊な私の本を読んでくださり、いつのころからか個展に来てくださって、ゆっくり親しくなった。たぶん10年は超えている。蘭越に伺った時は、以前著書で取材させていただいたワイナリーや工房の方々が千恵さんにつながっていて、再会、再訪をさせてもらった。点と点が線になったような嬉しさ<sup>うれ</sup>があって、蘭越はお米はもちろん、海や山の美味しい食べもの<sup>う</sup>があつたり、美しい風景に囲まれているけど、何より人々が素敵だ<sup>う</sup>なと思った。

蘭越駅の美化活動やフリーマーケットなどさまざまな地域活動をしてきた千恵さんは、一昨年これからは地域のためにと、スーパーマーケットだった場所を時間をかけて地域の人たちとリノベーションを行い、昨年「旧金谷商店—つくり場かずかず」をオープンした。作って食べることも食堂をはじめ、大人の調理実習や健康講座ほか、さまざまな活動を行う地域コミュニティースペースとして活動をしている。

千恵さんを中心として、さまざまな人が集う「つくり場かずかず」は、蘭越のたくさんのつながりが生まれる、美味しく楽しい場になりそうな予感がするのである。

\*連載タイトルを変更しました。相変わらず食いしん坊ですが、これからもいろいろな角度で北海道を見つめていきます。





## すずき もも

イラストレーター・絵本作家／元スローフードさっぽろ事務局長

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにこ」。